

雀宮東小の歴史

明治 6年 石田村感應寺に開校（仮校舎）
 10年 下横田村に新校舎建築。強風で校舎倒壊，東谷村薬王院に移動
 24年 東谷村北浦に新校舎を新築，移動
 34年 校舎全焼，再度薬王院を仮校舎とする
 35年 薬王院は暴風により倒壊，東谷17番地民家篠原庄蔵方を借用
 36年 同地に仮校舎を新築
 40年 東谷村北浦に校舎を再度新築，移転 5/28
 大正 11年 栃木県河内郡雀宮尋常小学校東校と改称
 昭和 22年 栃木県河内郡雀宮村立東小学校と改称
 29年 栃木県河内郡雀宮町立東小学校と改称
 30年 町村合併により栃木県宇都宮市立雀宮東小学校と改称
 45年 現在地に新校舎開校（木造2階建）
 46年 校門・フェンス設置
 50年 どんど焼き開始
 51年 児童活動後援会設立
 52年 学校農園開始
 53年 学区変更（茂原・茂原団地・上御田町の一部編入） 新校舎落成 9/18
 58年 創立110周年記念式典挙行
 59年 全国小学校道徳教育研究会栃木大会会場校
 59年 公開研究発表会 11/1
 60年 県教委優良学校（道徳）表彰 5/21
 平成 3年 宇都宮市口腔衛生功労賞（団体賞）受賞

5年 平成5・6年度市教委研究指定校（学校保健）いきいき地域ぐるみ教育活動推進校
 創立120周年記念式 5/28
 6年 学校保健教育研究校研究発表会 11/10
 10年 新校舎落成・創立125周年記念式典挙行 10/31
 13年 学校評議員会発足
 14年 通級指導教室「のみどり教室」設置
 19年 子どもの家設立 2/1
 学校給食民間委託開始 4/1
 20年 創立135周年
 雀宮東小地域協議会発足
 24年 宇小教研外国語活動部会授業研究会
 小中一貫・地域学校園開始
 宮っ子ステーション設立
 25年 子どもの家新築工事完了
 27年 耐震補強工事完了
 防犯カメラ設置
 28年 普通教室増設工事
 29年 普通教室新校舎使用開始
 30年 特別支援学級「にじいろ教室」設置
 創立145周年記念大運動会 5/26
 栃小教研宇都宮支部特別支援部会研修会 11/13
 令和元年 北校舎便所（トイレ洋式化）給排水衛生設備改修工事（9/2～12/10）
 令和2年 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業（令和2年3月2日～5月31日）GIGAスクール構想に伴うネットワーク機器の設置と1人1台タブレット型端末導入

学区の概要

本地区は、宇都宮市の南部に位置し、学区全体がほぼ台形に近い形状をなしている。学区の境界付近には、北に宇都宮環状線、東に県道上三川線、南に北関東自動車道、西に東北新幹線が走るなど、主要交通網が集中している。雀宮一帯は、市内でも遺跡の多い地域で、学区付近にも、東谷の笹塚遺跡、茂原の愛宕塚・大日塚・権現山古墳等が点在する。

本地域は、昔から水田の広がる田園地帯であるが、北関東自動車道IC完成以降、大型ショッピング施設が相次いで進出し、交通量の増加、市街化の急激な進行など、大きく変容している。また、茂原団地の造成、中島地区・東谷地区での宅地分譲により、新たな住民の入居に伴い本校児童数は近年増加傾向にある。

本校の保護者、PTA、地域住民は、学校教育に対して理解があり協力的である。本校の特色である「のみどり活動」に対しては、種まきから稲刈り、どんど焼きまで、のみどり隊・PTAの全面的な支援のもと、保護者全員が参加する充実した活動が展開されている。

